

さらに
安くなった!

スプレッドを節約!

スプレッドの狭さが FX会社の実力!?

FXの個人投資家が最も気にしている数字がスプレッド。これは買値 (ask) と売値 (bid) の差を表した数字で、差が狭いほどコストが安く済むことになる。

たとえば米ドル/円を80・50円で買ったなら、ポジションを決済するためには売り注文を出さなければいけない。そのときの売値が80・0円だった場合、米ドル/円を買って同時に決済すると、0・5円のコストがかかることになる。スプレッドは各通貨で異なり、米ドル/円など人気が高く取引量の多い通貨ほど狭くなる傾向にある。逆に取引量が少なく値動きの大きい南アランド/円は、スプレッドが比較的大きい。

最近では、スプレッドを原則



最近では、スプレッドを原則

最近では、スプレッドを原則

最近では、スプレッドを原則

キャッチアップ

3ケタ表示会社が増えている理由とは?

FX会社の最近のトレンドとなっているのが、小数点以下3ケタまでのレート表示。これはFX会社間のコスト引き下げ競争がますます激しくなっているためだ。今までのレート表示は小数点以下2ケタの会社が多かったが、これだと2つの会社が米ドル/円を売値80.91円、買値80.93円と同じ価格で表示していた場合、両方の会社にスプレッドの差はない。

そこで、レートを小数点以下3ケタまで表示することによって他社と差をつけられれば、スプレッドの低さを投資家にアピールすることができる。投資家にはうれしい限りだが、このままいくと4ケタ化も……!?

固定としているFX会社が多い。しかし、米国の雇用統計のように相場が動く指標発表時や、取引量の少ない早朝などはスプレッドが大きくなるので、注意が必要だ。さて、スプレッドは狭ければ狭いほどいいのか? 下記の通貨別の表では、SBI FXトレードが圧倒的なスプレッドの狭さを誇っているが、これは1万通貨までの取引。米ドル/円の場合、それ以上は0・29銭がかかる。取引量によりスプレッドが変わる会社もあるので、短期売買か中期投資かなど、投資スタイルを考えて選ぶべし。

値動きが大きくてマイナー通貨ほどスプレッドは大きくなる!



すぐにわかるスプレッドの仕組み



取引コストを抑えてくれる低スプレッドFX会社・通貨別BEST5

●米ドル/円の低スプレッドBEST5

1	SBI FXトレード	0.12銭
2	FXブロードネット GMOクリック証券 트레이ダース証券	0.3銭
3	岡三オンライン証券、 サイバーエージェントFX	0.4銭

●ユーロ/円の低スプレッドBEST5

1	SBI FXトレード	0.59銭
2	GMOクリック証券、	0.7銭
3	FXブロードネット	0.8銭
4	アルパリ [※] 、岡三オンライン証券、カブドットコム証券、トレーダース証券、マネーパートナーズ	0.9銭

●豪ドル/円の低スプレッドBEST5

1	SBI FXトレード	0.85銭
2	GMOクリック証券	1.0銭
3	岡三オンライン証券、 サイバーエージェントFX	1.2銭
4	FXプライム、アルパリ [※] カブドットコム証券	1.4銭

●英ポンド/円の低スプレッドBEST5

1	SBI FXトレード	0.99銭
2	GMOクリック証券	1.2銭
3	岡三オンライン証券	1.4銭
4	トレーダース証券	1.6銭
5	アルパリ [※]	1.7銭

●NZドル/円の低スプレッドBEST5

1	SBI FXトレード	1.49銭
2	アルパリ [※]	1.5銭
3	岡三オンライン証券	1.7銭
4	GMOクリック証券	1.8銭
5	サイバーエージェントFX	2.0銭

●南アランド/円のスプレッドBEST5

1	SBI FXトレード	0.99銭
2	岡三オンライン証券	1.7銭
3	サイバーエージェントFX GMOクリック証券 マネーパートナーズ	1.9銭

※2012年11月15日現在。

※プロ口座で11月12日~16日の実績値。提示率95%以上。最低スプレッドを表示。

KEYWORD スプレッドって何?

取引手数料とは別に、FXの取引時にかかるコストのこと。買値 (ask) と売値 (bid、または offer) の価格差のことをいい、これが狭いほど売買がしやすくなる。スプレッドの狭さをウリに、FX取引会社の中で競争が激化しており、レートの小数点以下を3ケタで表示している会社が多くなっている。